

KFA NEWS

No.72 (2010 春季号)

DREAM

夢があるから強くなる

2010年4月1日発行

熊本県サッカー協会広報誌

発行者

社団法人 熊本県サッカー協会 広報委員会

〒860-0831 熊本市八王寺町 9-60

096-334-5565 (平日 9時～18時)

ホームページ <http://kumamoto-fa.com/>

W杯招致 盛り上げよう!!

熊本 チームベースキャンプ地に立候補

10年後、日本だからこそ叶えられる。
かつてないスケールのワールドカップへ。

開催国だけでなく、世界中にいるすべての人が
興奮と熱狂を、同時に、肌で、感じられるワールドカップ。
それは、世界最大のスポーツイベントのあるべき未来の姿であり、
8年前にワールドカップ開催を成功させた
日本だからこそ描ける壮大な夢です。

この夢を叶えるために、私たち日本は、
2018年または2022年の
FIFAワールドカップの開催国に立候補しました。
日本は、サッカーと地球社会を
進化させる可能性に満ち溢れています。

日本だからこそ実現できる、新しい未来へ。
私たちは挑戦します。
世界がもっと、わかりあうために。

2018/2022年FIFAワールドカップ日本招致に
みなさんのご支援をお願いいたします。

DREAM●2018|2022

www.dream2018-2022.jp/



「南アフリカの次はブラジル」と言
えば、サッカー愛好者なら誰しもが思
い起こすワールドカップサッカー。こ
の4年に一度のビッグイベントを再び
日本で開催するための準備が進んでい
ます。

今回は、2014年のブラジル大会に
続く2018年またはその次の2022年
に日本単独での開催を目指すもので
す。

2002年は日韓共同開催でしたが、
あの興奮と感動を今一度と「大きな夢」
にチャレンジしているところです。

既に、日本は、昨年12月にFIFA
に対して招致契約書を提出し、開催国
が決定される本年12月2日のFIFA
理事会まで諸々の手筈を整えることに
なります。

熊本でも夢や活力を創造するた
めに、熊本県と熊本市が連携して「チ
ームベースキャンプ地」に立候補いた
しました。

開催国決定は、FIFAの審査・判断
に委ねられるため、今後に予定される
国内視察や各種プレゼンテーションで
の有効な対応が重要となりますが、最
大のポイントは、日本国内での関心の
高まりや開催招致気運の盛り上がり
に懸かっているかと思っています。

そこで、皆様方には、ワールドカ
ップ招致へのご理解を賜り、開催実現
に向けた気運盛り上げのために、普段
の「会話や電話」の中で一人でも多く
の方にこのことを語っていただき、ま
た、あらゆる機会にピーアールを願
いして、熊本から日本の盛り上がり
に繋げたいものです。

「夢実現」は必ず近づきます。

皆様のご支援、ご協力を宜しく願
い申し上げます。

熊本県サッカー協会

副会長 河野 等



[スポーツ振興くじ助成事業]

賛助団体会員

株式会社 瑞恵 NPO 法人ブレイズ熊本サッカークラブ
昌和機械工業所 スキルアップスクール
九州警備保障株式会社 クーバー・コーチング
株式会社ジョースマイル おべんとうのヒライ
JTB九州 熊本支店

Category

1

社会人

大津高 3 年連続 V

県チャンピオンシップサッカー大会

県チャンピオンシップサッカー大会最終日は 14 日、益城町総合運動公園陸上競技場で 3 位決定戦と決勝を行い、決勝は大津高が 2 - 1 で熊本教員蹴友団を下し、3 年連続 3 度目の優勝を飾った。

大津高は前半 12 分、FW 佐藤寛貴が先制ゴール。27 分は MF 中村次郎が直接 FK を決め、2 - 0 で折り返し。後半 6 分、熊本教員蹴友団に 1 点を奪われたが、そのまま逃げ切った。

3 位決定戦はヴァンクール熊本が 3 - 1 で熊本大を破った。(熊日新聞から転載)

＝結果＝

優勝：大津高等学校

準優勝：熊本教員蹴友団

第 3 位：ヴァンクール熊本フットボールクラブ

◆ 2 月 21 日 (日) 予選リーグ 1 週

第一試合 (A グループ)

大津高校 4 - 1 ヴァンクール熊本

第二試合 (A グループ)

学生選抜 4 - 0 Well-B 熊本

第三試合 (B グループ)

熊本教員蹴友団 3 - 0 ルーテル学院高校

◆ 2 月 27 日 (土) 予選リーグ 1 週

第一試合 (B グループ)

熊本大学 3 - 1 熊本学園大付属高校

◆ 2 月 28 日 (日) 予選リーグ 2 週

第一試合 (A グループ)

ヴァンクール熊本 1 - 0 Well-B 熊本

第二試合 (A グループ)

大津高校 3 - 1 学生選抜

第三試合 (B グループ)

熊本教員蹴友団 2 - 0 熊本学園大学付属高校

第四試合 (B グループ)

熊本大学 5 - 1 ルーテル学院高校

◆ 3 月 7 日 (日) 予選リーグ 3 週

大津高校グラウンド

第一試合 (A グループ)

大津高校 7 - 0 Well-B 熊本

第二試合 (B グループ)

熊本教員蹴友団 1 - 0 熊本大学

ルーテル高校グラウンド

第一試合 (B グループ)

ルーテル学院高校 2 - 2 (PK 9 - 8) 熊本学園大学付属高校

第二試合 (A グループ)

ヴァンクール熊本 3 - 3 (PK 3 - 2) 学生選抜

学生選抜

◆ 3 月 14 日 (日) 順位決定戦

益城町陸上競技場

3 位決定戦

ヴァンクール熊本

3 $\frac{2}{1}$ $\frac{0}{1}$ 1 熊本大学
(A グループ 2 位) (B グループ 2 位)

決勝戦

大津高校 2 $\frac{2}{0}$ $\frac{0}{1}$ 1 熊本教員蹴友団
(A グループ 1 位) (B グループ 1 位)

Category

1

大学

「がまだすプロジェクト」で活性

2009 年度活動報告

今年度より、崇城大学が九州大学リーグ 2 部に昇格し、熊大、学園大に続き熊本から 3 チーム目となった。このことは、日本協会のご支援により「がまだすプロジェクト」の一貫としてさまざまな活動を行ってきたことの成果ではないかと大変感謝しているところである。

このことが、県内チームの学生諸君にもよい影響を与えており、特に今年度の大杉杯においては九州大学リーグ 2 部チームが参加する中、県学生リーグのルーテル大が初優勝を果たして NHK 杯へ初出場し、同じく準優勝で出場した学園大が、

見事に NHK 杯で初優勝し天皇杯県代表権を獲得した。

「がまだすプロジェクト」は学生サッカーの活性化を大きな目標としているが、県内に強豪チームがあり、高校生あたりからみても強い大学チームでサッカーをしたいと目標にしてくれることも、活性化のひとつであると考え、よりよい選手を県内大学に引き止めるひとつの材料となればなおよいのではないかと考えている。

さて、今年度の学連活動としては、4 月 4 日からミニサッカー大会の予選リーグを開始し、5 月

9日の決勝までを行った。優勝は九州看護大、2位東海大、3位ルーテル大であった。また決勝の日に特別協賛社であるアンサーチームも参加しゲームとは別に6チームによるPK戦（5名）を行い、こちらも優勝は九州看護大、2位東海大となった。ただ、今年度参加チーム数が少なかったことは、サークル系チームの部員数不足による不参加があったので、来年度については、開催時期、大会形式（8人制）等への変更等も含め、大きな課題が残った。

次に大杉杯（NHK杯予選）は5月16日から予選リーグを開始し、予選リーグ代表はルーテル大となり、7月11日準決勝2試合を行い、7月12日学園大VSルーテル大との間で決勝が行われ、前日熊大を破った勢いそのままにルーテル大が1-2で初優勝し、決勝へ進出した2チームがNHK杯（天皇杯県予選）へ出場した。

9月から11月にかけては学生リーグを開催。優勝はルーテル大、2位熊本学園大学、3位：

熊本県立大学となった。優勝したルーテル大は、12月の九州大学各県リーグへ参加した。

また、12月の学生フェスティバルでは、阿蘇あびかG、asovigoの2会場を使用し、県外から佐賀大、日本文理大が参加。県内は、学園大、熊本大、崇城大、九看大、熊本高専八代、熊本高専熊本、ルーテル大、東海大の10チームが参加し、45分×1本で行い複数のチームと試合を行った。

学連所属チームには指導者のいないチームもあり、自分たちで試行錯誤しながらのトレーニングを行っているところもあるので、全体のレベルアップを図る目的で、今年から熊本宇城アカデミーの須藤監督にお願いし、トレーニングの方法や考え方などについての指導を実施した。9月から8チームの参加があり、各チームの意欲が感じられた。

今後も、JFAのご支援、ご指導を戴きながら「がまだプロジェクト」の取り組みを推進していきたい。（学生部会 委員長 野田秋夫）

Category 2 高校

ルーテル2年ぶり5度目の栄冠 県高校サッカー大会

県高校サッカー大会（新人戦）は1月31日、県民総合運動公園陸上競技場で決勝と3位決定戦を行い、決勝はルーテルが延長の末1-0で大津を下し、2年ぶり5度目の優勝を果たした。

ルーテルは前半、シュート7本を放つものの無得点。後半は防戦が続いたが、DF陣がゴールを

死守。延長前半4分、相手クリアミスを持ったMF小牧成亘が自ら切れ込み、決勝点を奪った。

3位決定戦は学園大付が文徳に4-0で快勝した。上位2校は2月12日から4日間、宮崎県で開かれた九州大会に出場した。（熊日新聞から転載）



【決勝・ルーテル―大津】後半終了間際、CKをクリアするルーテル守備陣
〓県民総合運動公園陸上競技場

Category

3

中学

UKI 初優勝 九州大会へ

JFA プレミアカップ県大会

JFA プレミアカップ県サッカー大会 (U-13) 最終日は 21 日、県民総合運動公園で行われ、決勝は UKI-CFC が 2-1 でバレイアを下し、初優勝を飾った。

UKI は豊富な運動量を生かして主導権を握り、前半 13 分に FW 星本憲杜が先制点。同 20 分には MF 谷口大輝がゴール前のこぼれ球を押し込み 2-0 とした。後半は相手の反撃を PK による 1 点に抑えて逃げ切った。

優勝チームは全国大会の予選を兼ねた九州大会 (4 月・大分県) に出場する。

▽準決勝

バレイア 2-0 エスパーダ

UKI 4-2 シャルム

▽決勝

UKI 2 $\frac{2}{0}$ $\frac{前}{後}$ $\frac{0}{1}$ バレイア

●残る全員でカバー

○…初優勝の UKI-CFC は攻守の要が準決勝で負傷退場したが、残る全員でカバーした。決勝で先制点を決めた FW 星本憲杜は「少し不安だったが勝ててよかった」と満面の笑顔。宇城市の中学生が中心のクラブ。

星本ら主力 6 選手はチームの練習とは別に昨夏から週 3 回、同市の JFA アカデミー生と合同練習を重ね力を付けた。齋藤隆二監督は「ボール回しがうまくなった。優勝できたのも協力してくれたアカデミーのおかげ」と感謝しきり。(熊日新聞から転載)

【決勝・UKI-バレイア】前半 20 分、UKI の MF 谷口 (中央) がシュートを決める＝県民総合運動公園補助競技場

優勝: UKI C-FC

1

2

02

24

エスパーダ

バレイア

シャルム

UKI

会 場	時 間	対 戦 カ ー ド				
2月13日 (土) あびか 多目的 (山)	10:00	アルバ	3	v s	合志中	2
	11:30	八代一中	2	v s	FCK-M	0
	13:00	エスパーダ	1	v s	玉名中	0
	14:30	錦ヶ丘中	1	v s	シャルム	1
2月13日 (土) あびか 多目的 (道)	10:00	ユナイテッド	0	v s	バレイア	1
	11:30	植木北中	1	v s	京稜中	2
	13:00	ルーテル中	2	v s	大津中	0
	14:30	ソレッソ	1	v s	UK I	2
2月14日 (日) 運動公園 サッカー場	10:00	アルバ	1	v s	エスパーダ	2
	11:30	八代一中	0	v s	錦ヶ丘中	1
	13:00	合志中	2	v s	玉名中	2
	14:30	FCK-M	2	v s	シャルム	3
2月14日 (日) KKウィング 補助	10:00	ユナイテッド	3	v s	ルーテル中	0
	11:30	植木北中	1	v s	ソレッソ	8
	13:00	バレイア	7	v s	大津中	0
	14:30	京稜中	0	v s	UK I	2
2月20日 (土) 日奈久 ドリームA (水俣)	10:00	アルバ	1	v s	玉名中	2
	11:30	八代一中	1	v s	シャルム	1
	13:00	合志中	1	v s	エスパーダ	2
	14:30	FCK-M	2	v s	錦ヶ丘中	0
2月20日 (土) 日奈久 ドリームB (八代)	10:00	ユナイテッド	2	v s	大津中	4
	11:30	植木北中	1	v s	UK I	4
	13:00	バレイア	6	v s	ルーテル中	1
	14:30	京稜中	2	v s	ソレッソ	0



Category

4

小学

雨中の激戦 YMCA むさし制す 県少年サッカー選手権

熊本県少年サッカー選手権大会は、年間のポイント上位のソレッソ熊本ヴィットーリアとリベルタ北熊本 FC、ユナイテッド SC、バレイア SC を中心に大会が進んでいくと思われました。しかし全日本大会出場のバレイアが初日に敗れる波乱がありました。また2日目には、熊日学童準優勝の山鹿 FC ジュニアにユナイテッドが敗れ、ブレイズ熊本ジュニアにソレッソが敗れてしまいました。

大会最終日は、大雨の中、そして雷雨での中断がありながら、またグラウンドコンディションがよくないなかで4チームによる激戦が行われました。

1 試合目は、ブレイズ VS 山鹿でした。前半はブレイズペースで進むも、後半は山鹿ペースに。カウンター攻撃のように早いボールを前線に送る山鹿はスリッピーなグラウンドとブレイズの堅守に攻撃を阻まれる。ブレイズはサイドからの攻撃でチャンスを作るも得点できず、一進一退の攻防が続きましたが、前半に2点を取ったブレイズが、山鹿を後半の1点に抑え勝利。

2 試合目は、リベルタ VS 熊本 YMCA フットボールクラブ U-12 むさしでした。中盤でボールを支配し、

そこからのボール配球でチャンスを作る YMCA むさしと、キープ力とスピードのあるトップにボールを預け中盤の押し上げでチャンスを作るリベルタとの好ゲームでした。前半に1点を取った YMCA がそのまま逃げ切り勝利。

決勝。初優勝を目指す YMCA むさしとブレイズの一戦。YMCA むさしが前半にあげた1点を守りきり勝利。2チームとも熊本で開催される九州大会（フジパンカップ）に出場。（4種委員会 大会担当 緒方宏臣）

=結果=

優勝：熊本 YMCA フットボールクラブ U-12 むさし

準優勝：ブレイズ熊本ジュニア

第3位：リベルタ北熊本 F.C.・山鹿 FC ジュニア



優勝した熊本 YMCA フットボールクラブ U-12 むさし

逆転でシャルム FC 熊本優勝 県少年サッカー新人大会

熊本県少年サッカー新人大会は2月20日の準決勝1試合目でシャルム FC 熊本 VS 熊本 YMCA フットボールクラブ U-11 が対戦。シャルムが1点をあげ、YMCA むさしが1点を返し、追いつくも、シャルムが1点を追加し勝利。

準決勝2試合目の FC ESPACIO 熊本 VS 河江イレブンは、個人技に勝り、パスサッカーを展開し、終始攻め続けたエスパシオは前後半に1点ずつ得点。それに対し、豊富な運動量とスピードを武器に攻撃をする河江は後半に1点をあげ追い上げを見せる。しかし試合は2-1のまま終了。

決勝。シャルム vs エスパシオ。個人技が高く、キーパーやディフェンスからビルドアップし徹底

的にパスをつなぐサッカーをするエスパシオに対して、早いディフェンスでパスサッカーを封じ込めようとしたシャルム。エスパシオが1点取るもシャルムが追いつき、後半のロスタイムに1点を入れたシャルムが勝利。シャルムとエスパシオは大分で開催される九州大会に出場。（4種委員会 大会担当者）

=結果=

優勝：シャルム FC 熊本

準優勝：FC ESPACIO 熊本

第3位：熊本 YMCA フットボールクラブ U-11 むさし・河江イレブン

Category

5

女子

P K 戦制し、ルネサンス優勝 県女子サッカー総合選手権

2月13日(土)から2月27日(土)にかけて、益城総合運動公園で「第28回熊本県女子サッカー総合選手権大会」が開催された。

県内より10チームが出場しトーナメント戦を行い、中学生主体であるルネサンス熊本フェニックスとMELSA熊本FCソヒアが決勝へ進出した。

決勝戦は、前半1-1 後半1-1と両者譲らない点の取り合いとなり延長戦となったが、決着がつかないままPK戦へともつれこみ、4-3でルネサンス熊本フェニックスが優勝。ルネサンス熊本フェニックスと九州リーグ枠のMELSA熊本FCアマールは、5月に大分県で開催される九州大会に出場する。

= 結果 =

優勝：ルネサンス熊本フェニックス

準優勝：MELSA熊本FCソヒア

第3位：不知火サッカークラブ、熊本ユナイテッドSCフローラ

◆1回戦

スポーツの森大津マリノス 0-2 ルネサンス熊本フェニックス

北部総合スポーツクラブクレスト 0-5 宇土鶴城中学校

◆準々決勝

ESPRESSO熊本 0-2 ルネサンス熊本フェニックス

矢部FCフィーバーズ 0-2 不知火サッカークラブ

MELSA熊本FCソヒア 4-0 城山FCレディース SPEC2

宇土鶴城中学校 1-4 熊本ユナイテッドSCフローラ

◆準決勝

ルネサンス熊本フェニックス 4-0 不知火サッカークラブ

MELSA熊本FCソヒア 4-2 熊本ユナイテッドSCフローラ

◆決勝

ルネサンス熊本フェニックス 2-2 MELSA熊本FCソヒア
PK4-3



【決勝戦】ルネサンス熊本フェニックスー MELSA熊本FCソヒア

障害者

九州ブロック地区予選会 6月阿蘇で開催

平成22年6月13日(日)、阿蘇ビラパークホテル人工芝グラウンドと国立阿蘇青少年交流の家にて、第10回全国障害者スポーツ大会知的障害者サッカー競技九州ブロック地区予選会が開催される。

この大会は、平成22年度に開催される第10回全国障害者スポーツ大会(ゆめ半島千葉大会)サッカー競技(知的障害者)に出場する九州地区

の代表を決定する予選会として開催するとともに知的障害者がスポーツを通じて心身の健全な成長と逞しさをさらに高め、社会の知的障害者に対する正しい理解と認識を深めることを目的とし、(財)日本障害者スポーツ協会とNPO法人日本知的障害者スポーツ連盟の主催で開催され、県協会としては、審判員の派遣等で協力をする予定だ。



この広報紙は、

スポーツ振興くじ助成金を受けて

実施しています

キッズ

U-9・10 定期トレーニングについて
2009 年度活動報告

キッズプロジェクトでは、U-9・10のキッズエリートを対象に、11月から2月にかけてJFAアカデミー熊本宇城と巻フットサルセンターカベッサ熊本にて、全5回の日程で定期トレーニングを実施した。

内容は、U-9はカベッサ熊本のコーチによる、フットサル基本技術の修得（ボールを留める、蹴る、運ぶ）を中心としたトレーニングと、右足・左足・両足での1分間のリフティングの回数測定。U-10は、クーバー・コーチング・ジャパンによる、ワンタッチコントロールの重要性を中心としたトレーニング。そして、「めざせファンタジスタ！」の検定会を2回実施し、継続的な指導による効果の把握を行った。

また、1月と2月には、保護者を対象にJFAアカデミー熊本宇城の施設見学や、食育講義・ストレッチ講座も併せて開催した。食育講義は、JFAアカデミー熊本宇城の管理栄養士である、レオック西日本の袴田祥子氏を講師に迎え、「食育について ～ジュニア編～」と題して、食育とは・1日に食べたい量のめやすや理想的な食事の組み合わせ・食事のマナー・チームスケジュールに合

わせた食事のポイントなどの講義が行われた。

ストレッチ講座は、JFAアカデミー熊本宇城のトレーナー濱田勇太氏を講師に迎え、「こどもと一緒にできるストレッチ講座」と題して、毎日自宅でできるストレッチを、伸ばすポイントや注意点など、細かい説明も交えながら行われた。

参加した保護者は、どの講座も熱心に受講し、メモをとったり講師に質問する姿から、こどもに対する気持ちの大きさを感じ取ることが出来た。

来年度もこどもたちにたくさんの経験をしてもらい、また、保護者にむけた講義やこどもと一緒にできるイベント等も開催出来たらと思う。（キッズプロジェクト 事務局 川口紗矢香）



キッズエリート交流会に佐賀県で開催

8月にJFAアカデミー熊本宇城で開催した佐賀県との二県交流会に続き、今回は長崎県も加わったキッズエリート（U-9・10）三県交流会が、2月20日（土）、21日（日）佐賀県で開催。熊本県からは、U-9:16名、U-10:25名が参加した。

1日目は、天山スキー場で食育講演が開催され、よく噛んで食べることやスポーツドリンクとオレンジジュースの補給の違い、身体の回復が如何に大切かを学んだ。

その後は、ソリ遊びや雪上綱引き・むかでリレーなど各県混合のチーム戦で交流を深め、サッカーの時とは一味違ったたくさんの笑顔を見ることができた。

これまでキッズエリートでは、食事の仕方、特に食卓に出されたものを残さずに食べることなど、物を大切にすることや躰の面も指導テーマとしてきた。

今回の交流会では、大人でも苦手なパセリも全

員が食べ、食が細い子供も時間をかけて完食した。またU-10のこどもたちにいたっては、ごはんやお茶の配膳・食後の後片付けなど、自分たちですすんで行動を起こし、初めて交流会に参加したU-9のこどもたちのよい手本となっていた。

2日目は、吉野ヶ里歴史公園でサッカーの交流試合が行われ、U-9・10各2チームに分かれて対戦した。

試合では、11月から2月にかけて行った定期的トレーニングの成果が現れてきているようで、コミュニケーション能力も向上し、チームのまとまりも感じられた。

合間には、クーバー・コーチング・ジャパンによるクリニックも盛り込まれ、充実した内容だった。次回は、8月に阿蘇で開催予定になっており、こどもたちも楽しみにしているようだ。（キッズプロジェクト 事務局 川口紗矢香）

Senior シニア



県リーグ「県庁・白衛隊」V

昨年9月から6ヶ月にわたるO-50のリーグ戦が、今年2月28日の最終節で閉幕した。

シニアチームの全17チームが8チームに再編され、2回戦総あたりで実施された。

優勝は10勝2敗2分で勝点32の『県庁・白

衛隊』連合チームで、2位の『南園・小川』連合チームを勝点わずか1点差で上回った。

	教員団OB	県庁・白衛隊	南園・小川	八代シニア	網田・宇土	荒玉・四十雀	ラン・ルネ・ベア	アデル・NTT	勝数	負数	分数	勝点	順位
教員団OB		△ 0-0	○ 3-1	△ 1-1	△ 1-1	○ 3-1	○ 3-2	● 0-1	5	5	4	19	5位
		● 0-1	● 0-2	○ 2-1	● 0-3	○ 1-0	● 0-1	△ 1-1					
県庁・白衛隊	△ 0-0		● 1-2	○ 1-0	○ 4-1	○ 2-0	○ 2-0	○ 2-0	10	2	2	32	優勝
	○ 4-0		● 2-3	○ 3-1	○ 3-0	○ 3-0	△ 1-1	○ 5-0					
南園・小川	● 1-3	○ 2-1		○ 1-0	△ 2-2	△ 1-1	○ 4-0	△ 3-3	9	1	4	31	準優勝
	○ 2-0	○ 3-2		○ 2-0	○ 2-1	○ 2-1	△ 0-0	○ 1-0					
八代シニア	△ 1-1	● 0-1	● 0-1		● 0-2	△ 0-0	● 0-2	△ 1-1	0	11	3	3	8位
	○ 1-2	● 1-3	● 0-2		● 1-3	● 1-2	● 0-2	● 0-3					
網田・宇土	△ 1-1	● 1-4	△ 2-2	○ 2-0		○ 2-0	△ 3-3	○ 3-2	6	5	3	21	4位
	○ 3-0	● 0-3	● 1-2	○ 3-1		○ 2-1	● 0-3	● 1-2					
荒玉・四十雀	● 1-3	● 0-2	△ 1-1	△ 0-0	● 0-2		○ 2-1	△ 0-0	2	9	3	7	7位
	● 0-1	● 0-3	● 1-2	○ 2-1	● 1-2		● 0-3	● 1-1					
ラン・ルネ・ベア	● 2-3	△ 1-1	● 0-4	○ 2-0	△ 3-3	● 1-2		○ 2-1	6	4	4	22	3位
	○ 1-0	● 0-2	△ 0-0	○ 2-0	○ 3-0	○ 3-0		△ 1-1					
アデル・NTT	○ 4-0	● 0-2	△ 3-3	△ 1-1	● 2-3	△ 0-0	● 1-2		4	5	5	17	6位
	△ 1-1	● 0-5	● 0-1	○ 3-0	○ 2-1	○ 2-1	△ 1-1						

郡市協会

【リレートーク】玉名協会 サッカー通じて人づくり

玉名サッカー協会は昭和43年9月に創設以来、40年以上活動が続け、今日に至っております。

創設時からの主な活動として、市長杯・協会会長杯をキッズ～一般の各年代にて開催しております。他にもキッズにおいて年間5回の大会や、他の各年代にて様々な大会を開催しております。

育成においても、地域トレセン活動等を行い、各年代スタッフにて小中学生の競技力の向上・サッカー人口の増加にも努めております。

協会の実績としましては、県サッカー協会表彰（一九七二年）、県教育委員会表彰（二〇〇七年）、市教育委員会表彰（二〇〇五年）等の受賞をしております。

今後も地域の協会として、サッカーを通じての地元貢献・人づくり・地元住民との交流等を実行していきたいと思っております。

この度、社団法人熊本県サッカー協会では設立60周年を記念して「熊本県サッカー協会 60周年記念誌」を発刊するはこびとなりました。熊本県サッカーの歴史の中で起こったさまざまなエピソードや経過をこの一冊にまとめ、「夢」そして記録に残し、次代へつなぐ資産として発刊いたします。

主な掲載内容

対談

井 薫＋巻誠一郎
(熊本県サッカー協会会長) (ジェフユナイテッド千葉)

熊本県サッカーのあゆみ
登録チーム紹介「エッセイ 思いを語る」

歴史に残る写真

熊本県サッカー協会紹介
ロアソン熊本紹介
熊本県サッカー沿革・大会の記録など

仕様詳細

上製本 化粧カバー付 約250頁

お問い合わせ先

(社)熊本県サッカー協会
〒860-0831 熊本市八王町9-60
TEL.096-334-5565

販売価格
(1冊)
5,160円
送料別

KUMAMOTO ASSOCIATION FOOTBALL 60th ANNIVERSARY

感動! そして夢と希望を...

平成21年11月24日(水)

**熊本県サッカー協会
60周年記念誌発刊!**

販売中

Futsal フットサル

熊本 FC V 2 部は EGOIST 県フットサルリーグ

平成 21 年 5 月 24 日から開催されていた熊本県フットサルリーグは 2 月 7 日に全ての日程を終了し「熊本 FC」が優勝した。2 部の優勝は「EGOIST」。

1 部に 6 チーム、2 部に 11 チームが参加した今年度のリーグは実力も拮抗しておりいずれも激しい戦いが繰り広げられた。

2 部で優勝した「EGOIST」は来年度より 1 部に昇格する。また、1 部で優勝した「熊本 FC」は長崎で開催された第 4 回九州各県フットサルリーグ決勝大会に出場し九州リーグ参入を目指したが、準決勝で沖縄県の「モリマサフットサル

クラブ」に敗退し惜しくも参入を逃した。(フットサル委員会 委員長 岩本芳久)



1 部優勝の熊本 FC

女子選抜 2 年連続グループ 2 位

平成 22 年 1 月 16 日、17 日に熊本市総合体育館で開催されたトリムカップ 2010 全国女子選抜フットサル大会九州予選に出場した熊本県女子選抜チームはグループリーグ 2 位となり、惜しくも決勝進出を逃した。

熊本、鹿児島、長崎、沖縄の B グループで予選を戦い 2 勝 1 敗だった。2 年連続のグループリーグ 2 位という結果に選手たちは「あと 1 歩なので、来年こそは優勝したい」と雪辱を誓った。(フットサル委員会 委員長 岩本芳久)

事務局

ロアッソ 100 円募金報告

09 年度は 415,340 円

熊本県サッカー協会では、2006 年度より主にロアッソのホームゲーム会場にて『ロアッソ募金(体協 100 円募金)』を行っています。毎回多くのサポーターの方からたくさんの募金をいただいております。誠にありがとうございます。

- ◆ 2006 年度 = 204,131 円
- ◆ 2007 年度 = 438,548 円
- ◆ 2008 年度 = 406,789 円
- ◆ 2009 年度 = 415,340 円

2008年度

対戦相手	会 場	月 日	担当委員会	参加者	募金額
横浜FC	KKWING	8月10日	事務局 2種委員会	藤野・遠山・河野・上野副会長、北岡、今田、藤家、黒木、川口、林田、北岡秀樹、満田有哉、河崎(荒尾)、佐藤(文徳)、岩本(球磨工)、仁田厚(八代農)、ルーテル高校(学生5名)、大津高校(学生3名)、泉田 総勢 25名	113,841
セレッソ大阪	KKWING	8月25日	事務局 4種委員会	4種委員会石原先生をリーダーとして県リーグ工藤委員長のお世話で小学生を動員して実施しました。	62,710
水戸ホーリーホック	KKWING	9月7日	1種委員会 (学生)	野田委員長はじめ学生部会20名の取り組みで実施しました。	59,196
ベガルタ仙台	KKWING	9月13日	シニア委員会	山本シニア委員長の呼びかけで24名の参加があり、雨の中活動していただきました。	40,714
横浜FC	KKWING	9月23日	3種委員会	3種委員長池田先生の指導のもと、京陵中学校のサッカー部員23名と指導者2名で活動していただきました。	69,452
徳島ヴォルティス	KKWING	10月5日	1種委員会 (社会人) 国府高校	社会人部会8名と子供たち、国府高校のボランティアにも参加していただき、30名程で活動しました。	60,876
FC岐阜	水前寺	10月26日	益城町サッカー協会	親子50名で赤い羽根共同募金に協力	—
サンフレッチェ広島	KKWING	11月30日	フットサル事務局	中止	—

2009年度

対戦相手	会 場	月 日	担当委員会	参加者	募金額
徳島ヴォルティス	KKWING	8月10日	事務局 2種委員会	ロアッソの都合により中止	—
水戸ホーリーホック	KKWING	8月16日	事務局 1種委員会 (社会人)	北岡、松崎、満田、河野忍、倉岡、川口(以上事務局)、工藤、北園、衛藤、山田、白石守(以上社会人)、長嶺地域スポーツクラブの子供達と保護者の皆様約 30名	97,025
セレッソ大阪	KKWING	8月30日	4種委員会	アルバランシア熊本FC選手と指導者の皆様	43,749
FC岐阜	KKWING	9月2日	1種委員会 (学生)	九州看護福祉大学サッカー部選手の皆様	26,074
サガン鳥栖	KKWING	9月12日	シニア委員会	各シニア登録チーム代表者(大雨の中、30名以上集まっていたコンコースでの活動でした)	50,947
横浜FC	KKWING	9月23日	3種委員会	常山中学校サッカー部20名、引率の先生2名	52,240
コンサドーレ札幌	KKWING	10月4日	事務局	河野副会長ご夫妻、武田、倉岡、黒木、川口、東秀一様ご家族	20,056
アビスパ福岡	KKWING	10月18日	フットサル委員会	岩本委員長ご夫妻と、エスパルダの選手と保護者の皆様 20余名	71,389
湘南ベルマーレ	KKWING	10月24日	女子委員会	女子委員会7名、FC MARRY GOLDの選手と指導者8名	53,660
カタレ富山	KKWING	11月29日	2種委員会	ロアッソから依頼の募金活動へ賛助	—
				一般の方が事務所へお持ちになりました	200

審判

「意欲新たに」研修会報告

毎年九州各县を持ち回りで行われる研修会は今年が熊本開催となり2月6日(土)、2月7日(日)の二日間にわたって、八代グランドホテルと熊本県営八代運動公園を会場に2010年シーズンに向けた研修会が開催された。九州8県から総勢72人の2級強化審判員や強化審判員指導者が一堂に介し、そのうち県内からは1級受験者やトレセン受講者、インストラクターなど16名が参加した。

初日は九州審判委員長の山城大氏による講話の後、競技規則テストや九州審判委員会の新年度に

向けた活動方針に関する説明が行われた。2日目は運動公園において実践的なケースを用いたプラクティカルトレーニングで主審及び副審の技術を確認し、午後からは体力テストが行われた。

県内から初めて年度末研修に参加したトレセンB受講者の廣田氏は『充実した研修になった』とのコメントもあり、強化審判員として研鑽を積む意欲も新たに研修会は終了した。(審判委員会 坂口智洋)

菊陽町で女子研修会

2月28日(日)に菊陽町さんさん公園において女子審判員を対象とした研修会が開催された。15名の女子審判員が参加し、ビデオ研修や実技研修で汗を流した。講師は審判委員会から1級審判員とインストラクターの2名が担当し、アシス

タントレフェリーの旗の振り方など基本的な事項の研修を行った。審判委員会としても女子審判員の発掘に力を入れており、今後も継続して実施していく計画である。(審判委員会 坂口智洋)

合澤氏 フットサル1級インストラクター合格。

本県審判委員会所属の合澤正裕氏が、2009年のフットサル1級インストラクター昇格審査において合格した。合澤氏は九州で第1号のフットサ

ル1級インストラクターとなり、九州におけるフットサルの発展・向上とともに全国における活躍が期待されている。(審判委員会 坂口智洋)

技術

キッズリーダーライセンス取得者201人に

今年度は、各地域で『キッズリーダー養成講習会』を開催し、6会場で合計201名がキッズリーダーのライセンスを取得した。

この講習会は、「心身、特に神経系の発育発達にめざましい幼児期や小学校低中学年代において、多くの子ども達に身体を動かすことの爽快さやスポーツの素晴らしさを体感してもらいながら、サッカーの普及・浸透、更には人材の育成を図る」ことを目的に90分の講義と90分の実技で、16歳以上であればサッカーの経験がなくても簡単に取得することが出来る。

昨年度より、受講者年齢が18歳以上から16歳以上に変更になったこともあり、今年度は主に高校生を対象に開催した。

この講習会を通

して、アップや鬼ごっこ・動き作りなどの楽しい遊びから、最終的にはサッカーの動きに結びつくことや、子どもたちがサッカーに関わる、一番最初の指導者としての接し方を学んだ。

来年度も引き続き高校生を対象に開催し、更なるキッズリーダーの養成とサッカーファミリーの拡大を目指す。(キッズリーダーインストラクター 光永誠司)

期日	内容	場所	対象者	受講者数
10月9日(金)	講義	熊本高等専門学校八代キャンパス内教室	熊本高等専門学校生	13名
10月30日(金)	実技	熊本高等専門学校八代キャンパス内グラウンド		
11月8日(日)	講義	七城町中央公民館内研修室	菊池市サッカー協会	15名
	実技	七城小学校グラウンド	吉富保育園(先生・保護者)	
12月11日(金)	講義	国府高等学校セミナーハウス	国府高等学校サッカー部	32名
	実技	国府高等学校トレーニングルーム2F		
3月1日(月)	講義	熊本YMCA学院内教室	熊本YMCA学院生	19名
	実技	熊本YMCA学院 体育館		
3月9(火)	講義	益城町総合体育館内会議室	熊本工業高等学校サッカー部	74名
	実技	益城町総合運動公園人工芝	熊本商業高等学校サッカー部	27名
3月10(水)	講義	人吉スポーツパレス内会議室	球磨工業高等学校サッカー部	21名
	実技	人吉スポーツパレス内体育館		
合計				201名

寄稿

「はじめまして」

(株) アスリートクラブ熊本 事業本部長
「ロアッソ熊本を」1へ」 県民運動推進本部 事務局長

蔵原信博

大学を卒業して33年間熊本の広告会社で営業一筋の仕事をしてまいりましたが、昨年の11月より「ロアッソ熊本を」1へ」県民運動推進本部の事務局長として、また今年の1月よりロアッソ熊本の運営会社、(株)アスリートクラブ熊本の事業本部長も兼務することになりました。

広告会社時代、スポーツイベントは何度か経験しましたが、それ自体を生業とする仕事はサッカーはもとより他のスポーツでも初体験です。生来スポーツ自体は見るのも、するのも大好きですが、サッカーについてはワールドカップとか国際試合以外は正直興味がありませんでした。しがな宮仕えの宿命と思い赴任しましたが、この5ヵ月余りの経験は私にとって今までとは全く違う新しい刺激的な世界の発見となりました。

まずサッカーと言うスポーツに関わる人の全てが熱いこと、熱いこと！そして年齢、職業、男女に係らずサッカーをこよなく愛していること！繋がり強いこと！そして何らかの形でサッカーに係っている人が意外（失礼！）にも多いこと、多いこと！などなど、勿論私の無知のせいでもあるのですが、私にとっては新世界への旅立ちあるいは2度目の青春を手に入れたような気分で、

今は忙しくて、リスクイでもあるんですが、ワクワク、ドキドキの毎日です。

ロアッソ熊本は、3月7日今シーズンの開幕戦をホームで迎え、強豪ジェフ千葉と互角に渡り合い、引き分けではありましたが幸先のいいスタートをきることができました。

正に、ワクワク、ドキドキの刺激のある良い試合をしてくれたと思います。そして忘れてはならないのは、ピッチ以外で、試合も見れず一生懸命運営を手伝って下さったボランティアの皆さん、選手と共に戦ったサポーターの皆さん、寒い中スタジアムまで足を運んで頂いた県民の皆さん（ちなみに、今シーズン」2開幕戦での観客動員数は熊本が最も多かったそうです！）、そして常に諸々の支援、協力を頂いているサッカー協会および会員の皆様です。

本当に色々な立場で支えて頂いている「熊本県民のチーム」であると実感しております。これからは、私も「サッカーに係っている人間」として、サッカーを愛し、県民のサッカーチームを自覚し、熱くロアッソ熊本を微力ながら支えていく努力をしていくつもりです。どうぞサッカー仲間に加えていただき、ご指導宜しくお願いいたします。



【熊本ー千葉】後半ロスタイム、熊本の市村（左から3人目）が同点弾を決め、喜ぶロアッソイレブン＝県民総合運動公園陸上競技場

World Cup

ロアッソ熊本の藤田がW杯招致大使に

サッカーの2018、22年ワールドカップ（W杯）日本招致委員会は24日、招致活動をアピールする「招致アンバサダー」に、元日本代表でJリーグでプレーするロアッソ熊本の藤田俊哉をはじめ、中山雅史（札幌）、宮本恒靖（神戸）の3選手が就任したと発表した。

アンバサダーは日本代表監督経験者のジーコ、オシム両氏らを含めて計10人になった。イベン

ト参加など広報への協力、招致活動に対するアドバイスをを行う。任期は10年12月の開催国決定まで。

藤田は「サッカー人として、招致の仕事にかかわることができ、うれしく思う。日本国中がサッカーでますます元気になるように一生懸命頑張ります」とコメントした。（熊日新聞から転載）

News & Information

※日程は変更になる場合があります。

■平成22年度 各部会総会

- 1種（社会人）委員会 植木町生涯学習センター（4月25日13:30）
- 1種（学生）委員会 県協会会議室（4月17日18:00）
- 2種（高校）委員会 スポーツの森大津会議室（4月10日10:00）
- 3種（中学・クラブ）委員会
スポーツの森大津体育館（4月17日13:00）
- 4種（小学・クラブ）委員会 フードパル熊本（4月11日9:30）
- 女子委員会 火の国ハイツ（4月11日9:00）
- 郡市協会 グランメッセ熊本（5月29日12:00）

■平成22年度 通常総会

- 5月29日（土）10:00 グランメッセ熊本

■2010 Jリーグ Division 2 <ロアッソ熊本>

- 第6節 4月11日（日）13:00 ヴァンフォーレ甲府 KKWING
- 第8節 4月24日（土）13:00 柏レイソル 熊本市水前寺競技場
- 第10節 5月2日（日）13:00 コンサドーレ札幌 熊本市水前寺競技場
- 第12節 5月8日（土）13:00 愛媛FC 熊本市水前寺競技場
- 第14節 5月22日（土）13:00 栃木SC 熊本市水前寺競技場
- 第15節 5月29日（土）未定 大分トリニータ 未定

■プレナスチャレンジリーグ2010 WEST

- <ルネサンス熊本フットボールクラブ>

- 第2節 4月11日（日）11:00 パニーズ京都 SC
益城町総合運動公園陸上競技場
- 第4節 4月25日（日）11:00 アギラス神戸
益城町総合運動公園陸上競技場

- 第6節 5月5日（水・祝）13:00 ジュブリーレ鹿児島

熊本県民八代運動公園

- 第8節 5月23日（日）11:30 スペランツァ F.C. 高槻

益城町総合運動公園陸上競技場

■JFA プリンスリーグ U-18 九州 2010 1部 <大津高等学校>

- 第1節 4月10日（土）12:00 東福岡高校 大津町運動公園球技場

- 第2節 4月11日（日）13:20 鵬翔高校 大津町運動公園球技場

■平成22年度 第13回 九州女子サッカーリーグ Division 1

- <MELSA 熊本FC>

- ファーストステージ

- 第3節 5月30日（日）11:00 九州総合スポーツカレッジ FC

阿蘇そよ風パーク多目的広場

■平成22年度 第13回 九州女子サッカーリーグ Division 2

- <熊本ユナイテッド SC フローラ・ESPRESSO 熊本FC>

- ファーストステージ

- 第1節 4月25日（日）11:00

熊本ユナイテッド SC フローラ vs ESPRESSO 熊本 FC

熊本県民総合運動公園補助競技場

- 第2節 5月23日（日）13:30

ESPRESSO 熊本 FC vs FC ALEGRE CAMINHO

益城町運動公園人工芝

- 第3節 5月30日（日）13:30

ESPRESSO 熊本 FC vs 中津 FC ポマト

阿蘇そよ風パーク多目的広場



井 薫会長ブログ

Old Dreamerの戯言

会長自らの言葉でつづるブログ

随時更新中！

<http://kumamoto-fa.com/dreamer>

名誉会長 荒木時彌

会長 井 薫

名誉副会長 緒方健司

副会長 藤野健一

副会長 河野等

特別顧問 宮嶋昭二

顧問 倉重剛

顧問 富田豊喜

顧問 前田浩文

顧問 永井隆一

専務理事 北岡長生

常務理事 今田周作（事務局長・広報委員長）

常務理事 藤山直秀（財務委員長）

副会長 遠山和美

副会長 上野住江

顧問 主海偉佐雄

顧問 緒方司朗

顧問 山本徹

常務理事 松崎正孝（1種委員長）

常務理事 河田信之（JFAアカデミー熊本宇城担当）

理事 堀行徳（総務委員長）、理事 山城大（審判委員長）、理事 小野龍男（技術委員長）、理事 河野忍（強化委員長）、理事 藤家澄夫（規律・フェアプレー委員長）、理事 満田和浩（事業委員長）、理事 高野定（スポーツ医科学委員長）、理事 印南静男（1種委員会社会人部会）、理事 野田秋夫（1種委員会学生部会長）、理事 瀧田邦彦（1種委員会学生部会）、理事 佐藤良広（2種委員長）、理事 池田政秀（3種委員長）、理事 原弘明（3種委員会）、理事 荘口雄二（4種委員長）、理事 長坂雅雄（4種委員会）、理事 荒川光夫（女子委員長）、理事 山本武道（シニア委員長）、理事 岩本芳久（フットサル委員長）、理事 宮本和史（郡市協会担当）、理事 武田昭二（キッズプロジェクトリーダー）、監事 緒方史郎、監事 中山重臣



2010年 4月1日発行

社団法人 熊本県サッカー協会だより 第72号
発行者

社団法人 熊本県サッカー協会

広報委員会 委員長・今田周作

事務局

〒860-0831 熊本市八王寺町9-60

096-334-5565 平日午前9時～午後6時

<http://kumamoto-fa.com/>